

くすのき



校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

自分の心を見つめ、人の心を知る

6月28日(金)2・3校時、体育館において全校での人権集会を行いました。人権教育は、「みんなが幸せになる」ために行うものです。まず、担当の小林教諭が今回の人権集会は、今月の人権学習を通して多くのことを学びました。それぞれの学年で学習したことや感じたことを発表し、それをしっかり聞いてその「発表」に対して「返し」もしていきましょう。と話されました。

1年生は、学習したことをもとに、一人一人がこれからの目標を発表する姿が立派でした。2年生も、学習したことをもとに、一人一人が自分のことを振り返りこれから自分がやっていくことやしないことを具体的に発表しました。3年生は、人権学習で自分の今までの辛い体験やきつい思いを授業の中で、しっかりと文章に表していました。実際の授業では泣きながらも発表し、周りの子は寄り添っていました。その学習を通して考えたことや思ったことをみんなで発表しました。4年生は、人権学習を通して、自分のいけなかった行為、改めなければならない行為を正直に堂々と発表しました。その態度は清々しかったです。5年生は、学校でよくありそうな事例をもとにした教材を使って学習したこと、それをもとに今までの自分を振り返り、今後自分の集団での生き方を立派に発表しました。6年生は、さすが最高学年、ほとんどの子が自分の発表内容を暗記しており、原稿を見ないで学んだことやこれまでの自分、これからの自分、これまでの学級、これからの学級や学校全体の在り方について、真剣に堂々と発表しました。すべての学年がすばらしい発表でした。

また、「発表」に対しての「返し」(感想など)をすべての学年でしてくれました。全校児童の中で一人で発表したり感想を述べたりするのは、とても勇気のいることです。しかし、ものおじせずしっかりとすばらしい「返し」や「発表」をしていました。周りの子もきちんとおへそをその子に向けて聞いていました。相手のことを思いやる行為です。校長として、その様な子ども達の行為が嬉しかったです。発表や感想では、「今後に生かしたい」「これからやっていきたい」など、未来のことへの語りもありました。これからもさらに自分の心を見つめ、人の心を知って深く考えて欲しいと思います。

発表に対する返し



人権集会の最後に校長が話す時間を長くいただきました。5月30日、1ヶ月前の人権月間に入る前にも集会をし、「きもい、うざい、あっち行け」という言葉を聞いたことがありますか、と聞いたところ8割近くの子が聞いたと答えました。それで、この1ヶ月はどうだったかを聞いたところ、同じく8割の子が挙手しました。人の性格や行動はそう簡単には変わりません。しかし、この子達を信じ、全職員で子ども達と一緒にいじめや差別のない学校づくりをしていきます。

学んだことの発表

